



# 先進の道路サービスへ 迎える大変革の時代、果敢に続ける挑戦

阪神高速道路  
開通60周年  
記念企画



阪神高速道路提供

大阪市臨海部、赤いランドマーク「港大橋」が存在感を放つ

## 関西経済を支える、人流・物流の大動脈

阪神高速道路は1964年6月28日に大阪1号線(現在の1号環状線)土佐堀~湊町間2.3kmが開通したのが始まり。その後、交通渋滞の解消や物流の効率化など時代の要請に応える形でネットワーク整備が着実に進んだ。1995年1月17日、未曾有の被害が発生した阪神・淡路大震災からの復旧復興という苦難を乗り越え、現在は総延長258.1kmまでネットワークが拡大。関西の大動脈として人流・物流を支え、経済発展に大きく貢献している。開通60周年を機に、めまぐるしく変化する社会環境や多様化する社会・顧客ニーズへの対応など、『先進の道路サービス』をグループ理念に掲げ、新たな挑戦を続ける阪神高速の未来を展望した。



阪神高速道路株式会社 代表取締役社長

吉田 光市

INTERVIEW

阪神高速が開通60周年を迎えました。

「阪神高速は1964年6月28日に大阪1号線(現1号環状線)土佐堀~湊町間2.3kmが開通したのが始まりです。今やネットワークの総延長は258.1kmまで拡大し、日平均約70万台のお客さまにご利用いただいております。関西圏の人流、物流を支える大動脈として成長してきました。これも長年にわたり当社事業にご理解とご支援をいただきましたお客さまをはじめ、大阪や関西の皆さまのおかげであり感謝を申し上げます。」

「阪神高速は関西、日本のインフラ整備・管理分野でもフロンティア的な役割を担ってきたと思います。都市高速ゆえの難題を克服するための新たな技術開発など、常に先進的な取り組みを実践してきました。その事例の一つが今年開通50年を迎えた大阪港のランドマーク、港大橋です。国内最長の中央径間長を持つゲルバートラス橋で、地震対策を含め橋梁技術の発展に貢献してきたことが評価され、2024年度に土木学会選奨土木遺産に認定されました。阪神高速では中之島S字橋や阪神・淡路大震災の被災構造物群、船場地区におけるビル・高架道路・地下鉄駅の一帯整備に続き4件目の認定です。これは先陣たちが絶えず挑戦を続けてきた証左でもあります。リニューアル分野でも終日通行止めによる集中工事を初めて導入するなど、今後も先陣を切ってチャレンジするというDNAを引き継いでいきます。」

港大橋の建設のように、50年先の人にもチャレンジングと評価される良質なインフラを後世に残していきたいです。」

「高速道路の老朽化対策は喫緊の課題です。」

「供用後40年以上が経過した高速道路が約5割を占めています。施工ヤードの確保や近隣対策など制約条件が多い中、着実に対策を講じていかなければなりません。リニューアルプロジェクトの一環で、22年6月に着手した14号松原線喜連瓜破付近の橋梁架け替えはその先駆けです。20年に開通した大和川線が代替ルートとなり、松原線三宅~喜連瓜破間の長期通行止めは踏み切れました。交通量が多い交差点上で既存橋梁を解体撤去し、鋼桁を架設する難易度の高い工事ですが、新技術の導入など創意工夫を凝らし施工の効率化に努めた結果、9月のヤマヤマと中央径間の架設を無事に終えました。地元のお客さまの協力により、工事が順調に進んだことから通行再開時期は約3カ月前倒しの12月上旬を予定しています。」

「経年とともにリニューアル工事は確実に増えていきます。今後は損傷などの兆候が出る前に察知し、早めに対策を講じる『予知保全』がキーワードになるでしょう。限られた人的資源の中で膨大な事業に対応していくためにも、点検の高度化や施工の効率化など生産性向上に向けたDX、先進技術などを積極的に導入していく考えです。」

「人材育成や技術の継承も欠かせません。」

「建設、保全ともに数多くの現場を抱え、技術継承の面で恵まれた環境を生かしながら、若手社員が現場、現物を見て学べる機会を提供していきます。阪神高速グループでは社員が日常業務で感じた課題や改善策などを披露する技術発表会を毎年開催しており、活発な議論の場になっています。全社一丸で課題に立ち向かう姿勢は頼もしく、脈々と受け継がれてきた風土を今後も大切にしていきたいです。」

「建設業界では担い手不足が深刻化し、働き方改革の一環で時間外労働の上限規制も適用されました。当社の事業は建設業界の協力なしには成り立たず、決して生産性向上の一環としてではありません。生産性向上の観点から『Hi-Teche』は受発注者双方の業務効率化に効果を発揮しています。今後も建設業界の再びを傾けながらさらなる改善に努めていく考えです。」

## 安全で安心、快適性を追求

「国や西日本高速道路会社、自治体との合併執行方式でミッションリンクと呼ばれる淀川左岸線2期と延伸部、大阪湾岸道路西伸部、名神湾岸連絡線の4事業に参画しています。これらは大阪都市再生環状道路の一部を担うなど、広域ネットワークの強化に欠かせない路線です。特に大半が大深度地下となる淀川左岸線延伸部、世界最大級の長大橋を含む大阪湾岸道路西伸部は高度な技術力が求められます。」

「技術革新もめまぐるしく進んでおり、自動車の交通分野では自動運転やAIなどのテクノロジーを組み合わせた次世代交通サービス『Maas』などが挙げられます。インフラの下部構造を支える当社は上部構造の経済や社会活動、サービスの変化に対応した柔軟な対応が一層求められます。」

「現在、若手や中堅社員を中心に2050年を見据えた長期ビジョンを検討中です。グループ理念『先進の道路サービスへ』はかならず浸透してきました。未来に向かってさらに一歩を踏み出す勇気を社員一人一人が持ち、実行に移していけば、どのような変化の時代でも持続的に発展できることを確信しています。自らも変わりながら、世の中に必要な価値を提供し続ける阪神高速グループへと進化を遂げていきます。」

「25年大阪・関西万博が掲げる『いのち輝く未来社会のデザイン』『未来社会の実験場』というテーマやコンセプトを踏まえ、当社も具現化に向けた一歩を踏み出しています。」

「現在建設中の淀川左岸線2期区間と既存1期区間を利用し、万博時に新大阪駅、大阪駅方面と会場を結ぶシャトルバスルートとして暫定供用させる計画です。自動運転の拡大を見据え、交通管制システムや道路上のカマフラ、センサーなどを活用し、バス事業者が行う自動運転の走行をインフラ側から支援する合流支援システム、先読み情報提供の実装にも取り組みを進めています。」

「現在、若手や中堅社員を中心に2050年を見据えた長期ビジョンを検討中です。グループ理念『先進の道路サービスへ』はかならず浸透してきました。未来に向かってさらに一歩を踏み出す勇気を社員一人一人が持ち、実行に移していけば、どのような変化の時代でも持続的に発展できることを確信しています。自らも変わりながら、世の中に必要な価値を提供し続ける阪神高速グループへと進化を遂げていきます。」

「変化のあるニーズへの対応など、将来あるべき姿や展望をお願いします。」

「少子高齢化や人口減少、自然災害の激甚化、地球環境問題への対応など社会全体が変革期を迎えています。カーボンニュートラル関連では環境配慮型コンクリートやアスファルト舗装の中温化など技術開発を含め、取り組みを加速しなければなりません。高速道路会社で初となる限定したサステナビリティポリシーによる資金調達を行うなど、今後もグループ全体で地球環境問題に真摯に向き合っていきます。」

「未来にむかって一歩を踏み出す勇気を社員一人一人が持ち、実行に移していけば、どのような変化の時代でも持続的に発展できることを確信しています。自らも変わりながら、世の中に必要な価値を提供し続ける阪神高速グループへと進化を遂げていきます。」

「未来にむかって一歩を踏み出す勇気を社員一人一人が持ち、実行に移していけば、どのような変化の時代でも持続的に発展できることを確信しています。自らも変わりながら、世の中に必要な価値を提供し続ける阪神高速グループへと進化を遂げていきます。」

「未来にむかって一歩を踏み出す勇気を社員一人一人が持ち、実行に移していけば、どのような変化の時代でも持続的に発展できることを確信しています。自らも変わりながら、世の中に必要な価値を提供し続ける阪神高速グループへと進化を遂げていきます。」

「建設業界では担い手不足が深刻化し、働き方改革の一環で時間外労働の上限規制も適用されました。当社の事業は建設業界の協力なしには成り立たず、決して生産性向上の一環としてではありません。生産性向上の観点から『Hi-Teche』は受発注者双方の業務効率化に効果を発揮しています。今後も建設業界の再びを傾けながらさらなる改善に努めていく考えです。」



阪神高速道路提供

大阪市中心部のビル群を縫うように走る環状線中之島S字橋



## 阪神高速技研 株式会社

自由な発想と創意工夫を活かしたコンサルティングを通じて、安心・安全・快適な交通ネットワークの実現に貢献します

自由な発想と創意工夫を活かしたコンサルティングを通じて、安心・安全・快適な交通ネットワークの実現に貢献します

- 高速道路構造物・施設の保全設計及び積算
- 交通技術(交通管制、安全対策、渋滞対策)、交通環境分析
- 業務系システムの開発及び運用管理
- 高速道路の施工管理(土木、電気、機械、建築)



企業 HP



新卒採用 HP

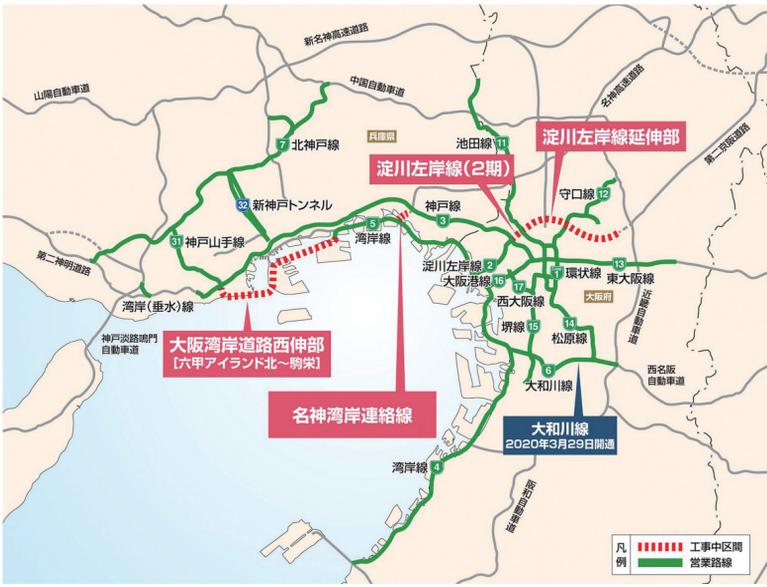


キャリア採用 HP



# Hanshin Expressway

# 100年先も信頼される高速道路に



阪神高速道路の建設事業 (阪神高速道路会社のホームページから抜粋 (一部加工))

## Network Project



左から高田耕庸氏、中野雄太氏、中野将吾氏



大阪湾岸道路西伸部の海上部長大橋の完成イメージ (阪神高速道路㈱提供)

1号環状線土佐堀～湊町間2.3kmからスタートした阪神高速道路。現在は総延長258.1kmのネットワークを有し、関西の大動脈として多くの人流・物流を支えている。関西圏では広域ネットワークが強化されてきたが、依然としてミッシングリンクと呼ばれる区間が存在する。その解消に向け阪神高速道路㈱が取り組んでいる新たなネットワーク整備が「淀川左岸線(2期)・延伸部」と「大阪湾岸道路西伸部」、「名神湾岸連絡線」の4事業だ。

このうち、最も建設が進んでいる事業が大阪市臨海部と大阪市中心部をつなぐ淀川左岸線(2期)。2013年5月に全線供用した淀川左岸線(1期)(湾岸線北港JCT～神戸線海老江JCT間約5.6km)に続く東側の区間で、新御堂筋(国道423号)の豊崎IC(仮称)に至る延長約4.4kmの路線となる。大阪市と阪神高速道路㈱との合併施行方式で事業が進む。本体(4車線)は地下、掘削、高架式で淀川堤防と一体構造。25年の大阪・関西万博開催時には新大阪駅・大阪駅などから夢洲の会場へ向かうシャトルバス専用ルートとして活用する計画だ。

阪神高速道路㈱では大阪市から海老江地区、豊崎地区の工事(開削トンネル、換気所、橋梁)を受託し、橋脚工や桁架設工、掘削工を完了。現在は床版工や函体工事などを進めており、12月の概成を見込む。海老江地区の工事を担当している大阪建設部淀川左岸線建設事務所の中野将吾氏は入社2年目。「土木で関西に貢献したい」との思いで入社し、1年目から願望の現場配属となった。「大規模な事業に関われる反面、不安もあった。職場の方や受注者の皆さんにさまざまなことを教わり、非常に楽しく貴重な経験をさせてもらっている」とやりがいを感じている。

### 世界最大級の長大橋建設へ

近畿自動車道・第二京阪道路の門真JCTに至る延長約8.7kmの路線となる。大深度地下(約70m)を含む大半が地下構造(開削、シールド)となり、近畿地方整備局と阪神高速道路㈱、西日本高速道路㈱の合併施行方式で事業が進む。現在は、地中障害物撤去工事などを実施中。トンネル部では有識者の助言を踏まえ設計検討を行っている。淀川左岸線は大阪都市再生環状道路の一部を形成する路線で、大阪都市圏の外周をネットワーク化することによって阪神高速環状線に集中する交通を外周へ転換でき、交通の円滑化に大きく貢献する。

神戸淡路鳴門自動車道垂水JCTから関西国際空港を臨むりくろJCTまでを結ぶ大阪湾岸道路約80kmの一部を形成する神戸地区の西伸部(六甲アイランド北～駒栄)は延長14.5kmの路線となる。事業主体は近畿地方整備局と阪神高速道路㈱。大半が橋梁、高架橋の区間となり、六甲アイランド地区では橋梁の基礎工事などが順次進んでいる。神戸港の新港・灘浜航路部に新設される

世界最大規模の長大橋は主塔基礎や耐震、耐風、景観の検討を踏まえ、昨年に基本構造として「4主塔7径間連続鋼斜張橋」に決定。概略設計を完了しており、今後は詳細設計を本格化させる。

このシンボリックな長大橋の概略設計などに携わった入社4年目の神戸建設部湾岸西伸部第一建設事業所の高田耕庸氏は「さまざまな関係の協議など、難しく手探りの部分もあるが、自分が携わり決まった内容がダイレクトに図面などに反映されることが本当にうれしく、やりがいを感じる」と率直な気持ちを打ち明ける。

### 常にネットワークの快適性意識

兵庫県西宮市の名神湾岸連絡線は今年3月末に公共事業と有料道路事業による合併施行方式を導入。近畿地方整備局と阪神高速道路㈱、西日本高速道路㈱が事業に参画する。名神湾岸連絡線と阪神高速神戸線(大阪方面)および湾岸線と連絡する道路。神戸線と国道43号に集中する交通を湾岸線に分散させることで、渋滞の緩和や定時性の確保、物流の効率化、沿道環境の改善などにつなげる。ルートは西宮JCTから今津東線や民有地を通り、航路を渡って人工島の西宮浜に至る延長約2.7km。現在は共同事業者の役割分担などの調整に加え、近畿地方整備局と協力して用地買収に向けた予備設計などを進めている。

これら4事業の現場と調整役などを含め、円滑な事業推進をサポートしているのが建設事業本部建設企画部企画課の中野雄太氏だ。入社6年目で、これまで保全工事の現場や景観検討など計画部門の仕事にも携わってきた。「今は建設部門で重要な事業を担当しているが、終わりでない。企業理念に掲げる『先進の道路サービスへ』を意識し、常に道路ネットワークの快適性を考えながら仕事をしていきたい」と話す。



淀川左岸線(2期)関連で実施中の海老江JCT(仮称)工事(擁壁の施工) (阪神高速道路㈱提供)

## ミッシングリンクの解消に向けて

## Topics 会社の持続的発展へ プロフェッショナル人材を育成



技術継承プログラムで幅広い活動 (阪神高速道路㈱提供)

少子高齢化や担い手不足などの課題が山積する中、阪神高速道路㈱では持続的な会社の発展を目指す、経営の最大資産である人材の育成、技術継承に力を入れている。目指す技術者は「プロフェッショナル人材」。▽日常業務での能力開発(ジョブローテーション)、他機関・グループ企業・民間企業への出向など)▽職場を離れての集合研修(階層別・分野別研修、技術研究発表会など)▽自己

### 実物見て新たな気づきを

啓発(資格取得支援制度、留学支援など)▽「気づき」や「意欲」の醸成(技術戦略セミナーの開催、社内コミュニケーションなど)▽「4項目を柱とする『技術系人材育成マスタープラン』に基づき、道路に関する高度な技術やノウハウ、マネジメント力を兼ね備えた人材の育成に取り組んでいる。2014年から始めたのが「技術継承プログラム」活動だ。OJTによるジョブローテーションだけではなく、育成が難しい技術分野(このエキスパート育成や、グループとして保有すべき技術の継承、蓄積が目的)の自身の強みの分野を磨くこととに主眼を置いた任意の活動で、入社6年以降で管理職になる前の阪神高速グループ社員がエントリでできる。

一定の予備校も設けて活動を後押ししており、活動部門・分野を拡大してきた。構造部門(鋼・鋼鉄骨、コンクリート、基礎・)と期待を寄せ

地下、耐震、舗装、計画・交通部門(交通管理・渋滞対策、交通流動分析・推計、交通安全対策)、大規模通行止め工事部門(通行止め工事マネジメント)の3部門9分野が対象となる。

現在は70人程度がエントリ。所属するグループ会社や部署に関係なく、社内内外の委員会・講演会への出席や現場での実地活動、勉強会の開催など幅広く活動を展開している。「阪神高速が参画する新規建設やリニューアルプロジェクトは、技術力を磨くにつれてのフィールド」と思われた環境の活用を促すのは伊藤学技術部長。他の高速道路会社などの現場見学も各分野で企画しており「資料や図面だけでなく実物を見ないとならない」とは多い。現地で実際のモノを見て肌で感じることでリアル感とスケール感を養い、新たな「気づき」を得てほしい」と期待を寄せ

<p><b>東亜建設工業株式会社</b> 大阪支店 執行役員支店長 作井孝光</p> <p><b>東洋建設株式会社</b> 大阪本店 常務執行役員本 店 長 本杉成美</p> <p><b>青木あすなろ建設</b> 大阪本店 常務執行役員本 店 長 清治 茂</p> <p><b>大豊建設株式会社</b> 大阪支店 常務執行役員支 店 長 浅田潤一</p> <p><b>株式会社 不動テトラ</b> 大阪支店 執行役員支店長 野口繁良</p> <p><b>若築建設株式会社</b> 大阪支店 執行役員支店長 谷本育朗</p> <p><b>株式会社 大本組</b> 大阪支店 執行役員支店長 信朝順治</p> <p><b>NITTOG 日特建設株式会社</b> 大阪支店 常務執行役員支 店 長 白砂哲也</p>	<p><b>三井住友建設株式会社</b> 大阪支店 専務執行役員支 店 長 安達紳児</p> <p><b>五洋建設株式会社</b> 大阪支店 常務執行役員支 店 長 生島俊昭</p> <p><b>東急建設株式会社</b> 関西支店 執行役員支店長 春木久幸</p> <p><b>株式会社 鴻池組</b> 代表取締役社長 渡津弘己</p> <p><b>株式会社 奥村組</b> 代表取締役社長 奥村太加典</p> <p><b>銭高組</b> 社長 銭高久善</p> <p><b>株式会社 浅沼組</b> 代表取締役社長 浅沼 誠</p> <p><b>株式会社 竹中土木</b> 取締役社長 竹中祥悟</p>	<p><b>株式会社 フジタ</b> 大阪支店 支 店 長 山川英之</p> <p><b>安藤ハザマ</b> 大阪支店 執行役員支店長 飯塚泰人</p> <p><b>佐藤工業株式会社</b> 大阪支店 執行役員支店長 嶋田玲志</p> <p><b>飛鳥建設株式会社</b> 大阪支店 執行役員支店長 中川勲治</p> <p><b>熊谷組</b> 関西支店 常務執行役員支 店 長 若林 誠</p> <p><b>前田建設工業株式会社</b> 関西支店 常務執行役員支 店 長 坂口伸也</p> <p><b>鉄建建設株式会社</b> 大阪支店 常務執行役員支 店 長 山田秀雄</p> <p><b>西松建設株式会社</b> 西日本支店 執行役員支店長 木村博規</p>	<p><b>CTI 未来につづき 安全・安心を</b> 株式会社 建設技術研究所 大阪本社 常務執行役員 江守昌弘 大阪中央区東修町 1-6-7 電話 06-6206-5555</p> <p><b>NEJEC</b> 株式会社 ニュージェック 代表取締役社長 山林佳弘 大阪市北区本庄東 2-3-20 電話 06-6374-4901</p> <p><b>大成建設株式会社</b> 執行役員 足立憲治 関西支店長</p> <p><b>株式会社 大林組</b> 代表取締役社長 兼 CEO 蓮輪賢治</p> <p><b>鹿島建設株式会社</b> 常務執行役員 茅野 毅 関西支店長</p> <p><b>清水建設株式会社</b> 専務執行役員 山下浩一 関西支店長</p> <p><b>戸田建設株式会社</b> 大阪支店 常務執行役員支 店 長 和久田吉朗</p>	<p>一般社団法人 日本建設業連合会 関西支部 支 部 長 北岡隆司 大阪市中央区北浜東 1-30(大阪建設会館4階) 電話 06-6941-3658</p> <p>一般社団法人 建設コンサルタント協会 近畿支部 支 部 長 山林佳弘 大阪市中央区大手通 1-4-10 電話 06-6945-5891</p> <p>一般社団法人 日本埋立浚渫協会 近畿支部 支 部 長 本杉成美 大阪市中央区高麗橋 4-1-1 電話 06-6209-8711</p> <p>一般社団法人 日本道路建設業協会 関西支部 支 部 長 田口和男 大阪市中央区北浜東 1-30(大阪建設会館内) 電話 06-6941-2904(代表)</p> <p>一般社団法人 日本橋梁建設協会 近畿事務所 会 長 川畑篤敬 大阪市西区本町 1-8-2(三見ビル) 電話 06-6533-3238</p> <p>一般社団法人 プレストレス・コンクリート建設業協会 関西支部 支 部 長 藤原博之 大阪市淀川区西中島 6-2-3(チサンマンション7F大阪308号) 電話 06-6195-6086</p> <p>「基礎施工士」(登録基礎くい工事試験)・登録基礎工基幹技術者講習会実施団体 一般社団法人 日本基礎建設協会 関西支部 支 部 長 石原啓史 副支店長 鳥居泰三 大阪市福島区福島 5-13-18(福島ビル401号) 電話 06-6452-5752</p> <p>前払金保証事業を通じて、公共事業の適正な施工をサポートし、建設産業の発展に貢献して参ります。 <b>西日本建設業保証株式会社</b> 〒550-0012 大阪市西区立売堀 2-1-2 電話 06-6543-2553 https://www.wjcs-net/</p>
--	--	--	---	---

# 阪神高速道路 開通60周年 記念企画

# 安全で快適な交通ネットワーク実現へ

## 阪神高速技研

## 強靱な技術者集団へ

## 積極的なコンサルテイング展開



渋滞・事故の要因分析  
対策提案まで支援

阪神高速技研は阪神高速道路事業に依るコンサルテイング業務を担うグループ会社として2009年4月に発足した。土木構造物をはじめ電気・通信設備や機械設備、建築設備に係る設計・積算・施工管理、交通渋滞・安全対策に資する交通分析、システム開発・管理など業務は多岐にわたる。

土木分野の設計では構造物の補修や耐震補強、大規模修繕工事など、各種工事で必要となる設計図

「先導的」な設計は信頼を得る。23年度にスタートした24年度の中期経営計画ではDX推進などに加え、強靱な技術者集団の構築を柱に掲げる。同社の中川紀雄企画部長は「当社の最大の経営資源は人。その質を高めることが会社の持続的な発展に欠かせない」と力を込める。社員の成長を促す取り組みとして、研修・教育制度の充実に加え、4月から資格取得を厚く支援する制度の運用も始めた。自身の成長が仕事に対するやりがいを、層高めのエンジニアメントの向上や会社全体の質向上につながる。こうした好循環を生み出す環境を整え、強靱な技術者集団を目指していく考えだ。

書の内容など工事発注を支援。道路構造物のスペシャリストとして耐久性や施工性、維持管理性、経済性に優れた最適な構造・工法を提案し、技術的な助言に加え、道路標識や鋼製高欄、遮音壁など付属構造物の設計も担う。

多種多様な施設・設備の改修などに伴う設計・積算では費用対効果など、最適な設計を提案し、高速道路の持続的な発展に貢献してきた。阪神高速道路の調査点検や診断・補修を担う阪神高速技術者とも緊密に連携。現場の情報共有し、ニーズを先取りした提案につなげるなど、阪神高速グループとしての強みを生かした設計は信頼を得ている。

積算業務では阪神高速道路会社が発注する新規路線建設や維持修繕、リニューアルプロジェクトの推進を後援してきた。多工種に及ぶ施工管理は豊富な経験と強い信頼関係の下に、発注者の右腕となり工事の円滑化に貢献している。

交通・環境分析は得意分野の一つだ。交通に関するビッグデータを活用し交通流動の現状把握、渋滞や事故の要因分析を実施。交通の円滑化に向けた交通規制の支援、渋滞や事故要因に合わせた対策の提案・効果分析などを通じて

阪神高速道路のメンテナンス業務を担う中核会社として2005年10月に発足した阪神高速技術。開発に力を注ぎ、協力会社や子会社など密に連携し、現場のニーズを聞きながら、ユーザー目線のより現場が望む技術・商品を生み出してきた。

「社内やグループ内の風通しが良くなったことで、自社の開発意欲もかなり高まってきた」と話すのは中田裕章技術開発課長。現場との活発な議論を通じて、自社員が発案したオリジナル技術が実装に結びついた事例も出始めている。その一つが都市高速では欠かせない地域や沿道への配慮を目的とした低騒音舗装撤去技術「リメインヒート工法」。プレーカーを使った一般的な舗装はつ

## 阪神高速技術

## 時代に合わせ点検・補修をアップデート

## 最高水準の道守りに



余熱活用した低騒音舗装撤去「リメインヒート工法」

り工事は作業時の騒音が大きく夜間作業はできない。開発した工法はロードヒーターによる赤外線加熱と余熱を繰り返しながら舗装温度を効率的に上げ、ほぐせる程度に軟化させた上でスコップなどで近所を開発した技術で特に響き呼んでいるのが、工事規制をいち早く、確実に知らせる安全誘導システム「ほたるい」だ。遠方視認性の高い矢印が路面に表示できる「内照式予告看板」の二つの車線断をAIが代行することで、大幅な効率化が期待でき、25年度から本格運用する。

近年は人の立ち入りや困難な箇所での効率的な点検・補修、のり面開落など管理外箇所の安全対策などにも着目。昨年度にはマイク

ル点検車「ドクターバト」も進化させてきた。最新車両は舗装、伸縮装置、トンネルの三つの点検機能を備え、最高時速100キロで走行しながら点検が可能。ラインスキャンカメラで幅1.5メートルの連続撮影ができ、この高精細な画像にAI技術を組み合わせると路面の一次診断技術「Search AI D(サーチエイド)」を阪神高速グループの内外構造、建設技術研究所と共同開発した。最もマンパワーと時間が掛かっていた二次診断をAIが代行することで、大幅な効率化が期待でき、25年度から本格運用する。

近年は人の立ち入りや困難な箇所での効率的な点検・補修、のり面開落など管理外箇所の安全対策などにも着目。昨年度にはマイク

## 安全誘導システム「ほたるい」



安全誘導システム「ほたるい」

# グループの総力を結集

## 業務の効率化へ

## 変わる働き方。

## クラウドで書類・データ一元管理

19年7月から本格導入した。その後も機能の追加など改修を重ね進化させてきた。システム上で調査から設計、施工、維持管理に至る全業務で利用、情報共有でき、複数人がクラウド上で同時に業務処理を行える点が大きな特徴だ。

業務の効率化やコスト削減を目的に工事契約書や設計図、工事の品質などを記録した関係書類と手続きを電子化し一元的に管理。システム上で書類発議や図面管理などが行える機能を備える。点群データやCIMデータなどの大容量データも共有フォルダにアップロードすることで共有できる。電子証明書などでセキュリティを強化しながら「内部メール機能」「掲示板機能」「スケジュール機能」など受発注者間でコミュニケーションの質を高めるツールを充実。効率的な連絡やワンダーレスボンスの実現に役立っている。社外でも使える専用端末を用いて遠隔による立ち会い検査やWeb会議なども可能だ。

一連の建設プロセスに必要な書類の提出や確認をシステム上で完結できるため、不備がある書類の修正や書類受け渡しだけの事務所間移動が不要になるなど、受発注者双方が効果を実感。効率化に伴って技術的な検討や議論ができる環境・時間が生まれ、さらに創出された機会や時間を活用し「働き方改革」を実現するというシステム開発の目的を達成している。引き続き現場の意見に耳を傾けながらより良いシステムへと進化させていく。

## Hi-TeLus

## 工事情報等共有システム



担い手不足や働き方改革に伴う時間外労働の上限規制適用など建設業界が抱える課題に対し、受発注者双方の業務高度化・効率化に効果を発揮しているのが、阪神高速道路会社と阪神高速技研が開発した工事情報等共有システム「Hi-TeLus(ハイテラス)」だ。工事現場で飛び交う膨大な書類を電子化し、受発注者間のメールのやりとりも含め、あらゆるデータをクラウドで一元管理。工事関係者全員が共通のプラットフォームで情報を共有し、文書作成や事務手続きの簡素化を実現している。阪神高速道路会社が発注する全業務・工事を対象に20

<p><b>株式会社 クリハラント</b> 取締役社長 鹿谷和久 大阪市北区高天満4-8-17(宇治ビルディング6階) 電話 06-6311-5148</p>	<p><b>株式会社 富士ピー・エス</b> 関西支店 執行役員 副支店長 後小路 祥一 大阪市淀川区西宮原 1-5-33(新大阪駅前ビル) 電話 06-6397-3401</p>	<p><b>YOSHIDA GC</b> 代表取締役社長 壺阪博昭 兵庫県姫路市広畑区正門通 3-6-2 電話 079-236-1131</p>	<p><b>株式会社 新井組</b> 代表取締役社長 馬場公勝</p>	<p><b>DINC. 大日本土木株式会社</b> 西日本支店 執行役員支店長 細野俊英</p>
<p><b>佐野塗装株式会社</b> 大阪支店 取締役支店長 有馬裕司 大阪市東淀川区淡路 5-16-20 電話 06-6321-2521</p>	<p><b>川田工業株式会社</b> 大阪支店 大阪支店長 岩崎謙介 大阪市西区南町 2-4-2 電話 06-6532-4891</p>	<p><b>YSC 寄神建設株式会社</b> 代表取締役社長 寄神正文 神戸市兵庫区七宮町 2-1-1 電話 078-681-3120</p>	<p><b>中林建設株式会社</b> 代表取締役社長 中林浩之</p>	<p><b>村本建設株式会社</b> 代表取締役社長 久米生泰</p>
<p><b>ショーボンド建設株式会社</b> 近畿圏支店 上席執行役員 近畿圏支店長 堀部直秀 大阪市東区永田 3-12-15 電話 06-6965-4321</p>	<p><b>JFEエンジニアリング株式会社</b> 大阪支店 支店長 川畑康浩 大阪市淀川区宮原 1-1-1 電話 06-6398-5190</p>	<p><b>OBAYASHI ROAD 大林道路株式会社</b> 大阪支店 専務執行役員 支店長 小原信也 大阪市北区西天満 1-2-5(大阪JALビル8階) 電話 06-6360-7110</p>	<p><b>コーナン建設株式会社</b> 代表取締役 会長兼社長 原 恭平</p>	<p><b>株木建設株式会社</b> 大阪支店 常務執行役員 支店長 三浦直之</p>
<p><b>大日通信工業株式会社</b> 代表取締役 吉森直紀 兵庫県尼崎市金葉寺町 1-2-65 電話 06-6489-2421</p>	<p><b>高田機工株式会社</b> 代表取締役社長 中村達郎 大阪市浪速区難波中 2-10-70 電話 06-6649-5100</p>	<p><b>鹿島道路株式会社</b> 関西支店 執行役員支店長 田村嘉英 大阪市中央区城見 2-2-22 電話 06-6910-3701</p>	<p><b>家島建設株式会社</b> 代表取締役 中野宏一郎 兵庫県姫路市勝原区三宅 2-5-9 電話 079-234-1081</p>	<p><b>大鉄工業株式会社</b> 代表取締役社長 半田真一</p>
<p><b>鉄電塗装株式会社</b> 代表取締役 田伏昭一 大阪市都島区都島中道 2-1-15 電話 06-6922-5771</p>	<p><b>株式会社 横河ブリッジ</b> 代表取締役社長 中村 譲 千葉県船橋市山野町 27 電話 047-437-8000</p>	<p><b>世紀東急工業株式会社</b> 関西支店 常務執行役員 支店長 権藤豊彦 大阪市北区野崎町 7-8 電話 06-6313-0318</p>	<p><b>株式会社 川嶋建設</b> 代表取締役社長 川嶋祐紀 兵庫県豊岡市寿町 11-35 電話 0796-22-4321(代表)</p>	<p><b>株式会社 松村組</b> 代表取締役社長 村上 修</p>
<p><b>日本電設工業株式会社</b> 大阪支店 執行役員支店長 山中幸一 大阪市淀川区三國本町 2-1-3 電話 06-6150-0034</p>	<p><b>アイ電気通信株式会社</b> 代表取締役社長 山本 桂 大阪市鶴見区横堤 1-6-45 電話 06-6915-2100</p>	<p><b>株式会社 NIPPO</b> 関西支店 執行役員支店長 田口和男 大阪市中央区船越町 2-4-12 電話 06-6942-6121</p>	<p><b>株式会社 神崎組</b> 代表取締役社長 神崎文吾 兵庫県姫路市北条口 3-22 電話 079-223-2021(代表)</p>	<p><b>株式会社 森本組</b> 代表取締役社長 横尾 徹</p>
<p><b>株式会社 ハイウエイ管制</b> 代表取締役社長 谷口信彦 大阪市西区西本町 1-3-10(信濃橋富士ビル7階) 電話 06-6534-5505</p>	<p><b>昱工業株式会社</b> 関西支店 代表取締役 中川 崇 大阪市北区中之島 6-2-40 電話 06-6441-3337</p>	<p><b>三井住建道路株式会社</b> 関西支店 支店長 今橋 寛 大阪市福島区野田 5-17-22 電話 06-6461-8681</p>	<p><b>日本海工株式会社</b> 代表取締役社長 山下聖一郎 神戸市中央区伊藤町 119 電話 078-391-1792</p>	<p><b>株式会社 森組</b> 代表取締役社長 吉田裕司</p>
	<p><b>株式会社 大阪防水建設社</b> 代表取締役社長 宇賀良太 大阪市天王寺区御堂町 7-6 電話 06-6762-5621(代表)</p>	<p><b>ピーエス・コンストラクション</b> 株式会社 大阪支店 常務執行役員 支店長 藤原博之 大阪市北区天満橋 1-8-30 電話 06-6881-1170</p>	<p><b>株式会社 森長組</b> 代表取締役社長 森 宏文 兵庫県南あわじ市賀集 823 電話 0799-54-0721</p>	<p><b>株式会社 ノバック</b> 代表取締役社長 立花 充</p>